## 草の根協力支援型 2016 年度第1回 採択内定案件

1. 対象国名   ミクロネシア連邦   ポンペイ州における「減量・肥満予防プログラム」導入事業   3. 事業の背景と必要   ミクロネシアの主要産業は水産業、農業、観光業であるが生産性は高くなく、は貨幣経済と伝統的自給経済が混在する社会にゆったりと生活している。「肥満の増加」という大きな保健問題がミクロネシアを直撃している。高い服率の背景には食習慣の変化が第一に指摘されており、これまで様々な取り組み行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へてり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者はポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正して解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。   「減量・肥満予防プログラム」*が確立される	方温が取は理しを
3. 事業の背景と必要 に性 は貨幣経済と伝統的自給経済が混在する社会にゆったりと生活している。一 「肥満の増加」という大きな保健問題がミクロネシアを直撃している。高い服率の背景には食習慣の変化が第一に指摘されており、これまで様々な取り組織行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へらり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者はポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正し解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、そて③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 目標 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3 を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ が3. 対象地域 ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア	方温が取は理しを
性 は貨幣経済と伝統的自給経済が混在する社会にゆったりと生活している。一「肥満の増加」という大きな保健問題がミクロネシアを直撃している。高い服率の背景には食習慣の変化が第一に指摘されており、これまで様々な取り組織行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へらり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者にポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正し、解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3 を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  5. 対象地域 ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニアの	方温が取は理しを
「肥満の増加」という大きな保健問題がミクロネシアを直撃している。高い服率の背景には食習慣の変化が第一に指摘されており、これまで様々な取り組織行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へらり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者はポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正して解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロコ	型が取は理しを
率の背景には食習慣の変化が第一に指摘されており、これまで様々な取り組み行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へてり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者にポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正し解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  5. 対象地域 ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア地区、オンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア	が取は理しを
行われてきたが、肥満人口増加を抑制するには至っていない。従来の肥満へのり組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者はポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正して解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、でで、特別な施設や器質必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3 を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア	取は理しを
り組みが功を奏さない要因を検討するための調査を 2014 年、本事業提案者をポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正し解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器類必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト	は理しを
ポンペイ州で実施した。調査結果から、①人々が肥満の健康的リスクを正して解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、ででいる。ことができ、特別な施設や器が必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される 下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニア	理しま
解すること、②減量を考える人が適切に食事を改善する行動がとれること、で で③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器具 必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である 考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される 目標 *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ 5. 対象地域 ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区) 6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニ	さし 具を
て③ミクロネシアの人々が文化的に受け入れることができ、特別な施設や器類必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である考えられた。  4. プロジェクト	₹ を
必要としない運動を行うようになることが調査地での肥満是正に必要である 考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される 目標 *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ 5. 対象地域 ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)  6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニ	. —
考えられた。  4. プロジェクト 「減量・肥満予防プログラム」*が確立される   *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ   ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)   ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニ	<u>ا</u> ک
4. プロジェクト 目標「減量・肥満予防プログラム」*が確立される *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ5. 対象地域ポンペイ州(コロニア地区、ウー地区)6. 本事業の対象となポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロー	
目標 *下記 7. の〈活動〉1~3を合わせて「減量・肥満予防プログラム」と呼ぶ	
5. 対象地域 ポンペイ州 (コロニア地区、ウー地区) 6. 本事業の対象とな ポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニ	
6. 本事業の対象となポンペイ州保健局・教育局スタッフ、コロニア地区オーミネ小学校区、コロニ	
ストゥーニー  小学校区  な上が古一地区サラダック小学校区の地域住民	-ア
7. 事業活動と期待さ  〈活動〉	
れる変化 1. 対象者が肥満の健康的リスクを正しく理解するための活動	
2. 対象者が適切な食事行動をとるようになるための活動	
3. 対象者が特別な施設や器具を必要としない運動を継続できるようになる	5/2
めの活動	
〈期待される変化〉	۷.
1. 「肥満の健康リスク親子教室」参加者の肥満リスク理解スコアが、参加	آ^
ースラインスコアから 30%上昇する	z 🙃
2. 「減量・肥満予防のための食事指導」による減量コンペティション参加する。 スティンスファスから 2000 トロナス	1 ()
「食行動指数」平均が、参加前ベースラインスコアから 20%上昇する 3. 「減量・肥満予防のための運動」で、コンペティション参加者 3 割以上が	\$ <del>11</del> 7
3. 「減量・肥満予防のための運動」で、コンペティション参加者 3 割以上が   均 6 ポンドの減量に成功する	\ <del>+</del>
「減量・肥満予防のための運動」で、コンペティション参加者のうち、	nt ś
前に高血圧(140/90mmHg)と診断された人に有意な降圧効果が確認される	
(1.05) (1.40/30mmile) と 診断 とれいこれに 有志な (4.00年) (1.40/30mmile) と (5.05)	(β
1. ~3. 活動 1-3 を通して、現地関係者が Plan-Do-Check-Action を学ぶ	
8. 実施期間 2017年10月~2021年8月(3年10ヶ月)	
9. 事業費概算額 10,744 千円	
10. 事業の実施体制 本事業はポンペイ州保健局パブリック・ヘルス部署をカウンターパートとし	同
州教育局を協力機関として実施する。提案団体(福岡女子大学臨床栄養学研究	
は、事業実施地域の状況に精通し、事業活動ごとに専門性の高いメンバーで	
ジェクト・チームを構成し、事業実施に臨む。	
Ⅱ.提案団体の概要	$\neg \neg$
1. 団体名 福岡女子大学 臨床栄養学研究室	
2. 活動内容 食を通して人々の健康増進・疾病治療に貢献することを目指し、国内外におり	
健康問題解決の基盤となる研究と、研究結果を反映した実践活動の支援によっ	トる
「研究」と「現場」をつないだ「根拠に基づく社会貢献」を実践している。	